



地震火災を未然に防ぐ



近年の大規模地震時には
電気を原因とする火災が
多発しています！



写真提供：神戸市

かん しん
「**感震ブレーカー**」

を設置しましょう！

火災予防に関するお問合せはお近くの消防署にお気軽に！

大分市消防局



予防課

☎097(532)3199

東消防署

☎097(527)2721

中央消防署

☎097(532)2108

南消防署

☎097(586)1230

詳しくは裏面をご覧ください！

地震時の電気火災ってどうして起こるの？

例えば・・・

- ①地震で家具が倒れる▶
- ②電気ストーブの周囲に雑誌等が散乱▶
- ③停電が復旧し、再度通電することで電気ストーブが作動▶
- ④周囲に散乱した紙類等の燃えやすいものに着火▶
- ⑤火災発生



このような電気を原因とする火災を防ぐために

「感震ブレーカー」が有効です。



感震ブレーカーってどんなもの？

感震ブレーカーとは、地震の時に設定値以上の揺れを感知すると自動的にブレーカーを遮断して電気を止める機器です。

感震ブレーカーを設置することで、不在時や避難する際にブレーカーを切り忘れた場合、電気による火災の防止が期待できます。

どんな種類があるの？

分電盤タイプ（内蔵型）



- ▶分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを遮断して電気を遮断。
- ▶電気工事が必要

分電盤タイプ（後付型）



- ▶分電盤に感震機能を外付けするタイプで、漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能。
- ▶電気工事が必要

コンセントタイプ



- ▶コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断。
- ▶電気工事が必要なタイプと、コンセントに差し込むだけのタイプがある。

簡易タイプ



- ▶ばねの作動や重りの落下によりブレーカーを落として、電気を遮断。
- ▶電気工事が不要

注意することは？

- 感震ブレーカーの設置の有無に関わらず、地震発生後に避難する際はブレーカーを切ることを忘れないようにしましょう。
- 医療機器等の命に関わる電気機器を使用している際は、バッテリーなどの別の電力供給手段を準備しておきましょう。
- 照明を確保するため、内蔵電池で作動する足元灯や懐中電灯等を常備しておきましょう。